京城日報 夕刊 五月二十六日（日）
編輯兼發行人 鮫島宗也 印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

金線ミルク
金線ミルクは全鮮到る所の藥店にあり

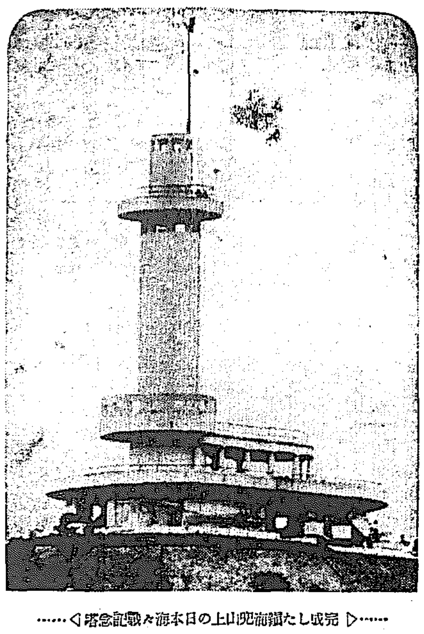
血湧き肉躍る 日本海々戰の回顧

あす、廿五周年記念日

盛況を想見される記念塔除幕式

五月廿七日こそは日本海々戰の記念日である、由緒深き鎭海灣頭兜山に建設中の記念塔もまさに成り、廿七日をもつて除幕式を擧行することになつた、局面は今から二十五年のむかしに歸る、鎭海灣頭近き島根の夏草に虫鳴かせんで夜色沈々たり、空には星の光りも凝く將士いづれも腕を叩いて血湧き肉躍る、これぞ東郷閣下の聯合艦隊が露國艦隊の浦鹽入港を邀擊して一擧撃滅を策せんとし、日夜敵艦撃滅に苦心した當時の光景である

そも〳〵日本海々戰は日露兩國の死命を決するもので、若し敵艦が浦鹽に突入したとなれば日本は制海權を失はねばならない、兵員も武器も糧食も滿洲へ送れなくなる、どうしても露艦隊を粉砕せねばならぬのだ、一死君國に殉ずるはまさにこの時である。例へ死すとも七生まで護國の鬼となり敵艦隊を擊沈せでやはやまないと將士の心はピタリと合つた。一方また出征將士の家族においては老幼男女を問はず、獻金に或は慰問袋の寄贈に或は神佛に戰捷を祈願するなど、たゞ血と涙のにじむばかりであつた、夫の出征をはげます若き妻あり、老ひの身をも忘れて國のために死ねよとわが兒をはげます父もあり、國民の義憤激國の丹心この時ばかりは正に人心緊張のクライマックスに達してゐた。



……◁完成した鎭海兜山上の日本海々戰記念塔▷……

彈片の談片

其時の彈片は之れ 三笠艦橋附近の大爆裂

清河純一氏談

鎭海要港司令官 海軍中將

五月廿七日午前四時四十七分、濃霧は波濤を破つて哨艦信濃丸から『敵艦見ゆ』との無電あり、「スワ敵艦御參なれ」と各艦いづれも命令一下手足を動かす如く一糸亂れず旗艦三笠の信號に應じて出動した。時計は刻々迫りて兩國艦隊漸く視野に入る、双方の艦隊約一萬メートルに達した、敵艦は早くも火蓋を切つた、我は滿を持していまだ放たず、すでにして艦隊は敵の先頭を壓する如く針路を反轉して七千メートルの距離に迫り、初めて砲擊をはじむ、驚天動地の大海戰はこゝに開始せられた『皇國の興廢この一戰に在り、各員一層奮勵努力せよ』の信號は實に數分前三笠の檣頭に翻へるに至つたのである、彼我前戰の最も酣であつたは同日午後二時四十分頃であつた、わが主力艦隊たる第一、第二の兩戰隊は瞬時間に敵の新式戰鬪艦四隻を擊沈した、いはゆるこの日は天氣晴朗なれども波高しで、狂瀾は海上波狂ひ殊に敵艦は舷梯高くして浮城の如きも、われは舷梯低くして恰もイカダの如くであつたが將士の忠勇義膽と天祐とを以て勝利の大捷を博したのである。左に海軍省發表の戰績を見るに、露國艦隊三十八隻約十五萬噸の內、目的地浦鹽港に到達したもの僅に小巡洋艦一隻驅逐艦二隻合計約四千噸で、他は悉く擊沈或は捕獲または抑留せられたのである

日本艦隊は百余隻これには水雷艇も含み約二十二萬噸の內喪失したるもの僅に水雷艇三隻合計二百七十六トンで他はことごとく殘存した。この一事を以つてしてもその大捷ぶりを想見するに足りるではないか。

時は二十五年前の五月二十七日黎明五島と濟州島の間に出してあつた哨艦信濃丸から

この信濃丸は旗艦三笠が英國で出來たとき回航員を乘せて渡英した船で當時拙者は少尉で信濃丸に乘り始めて英國に往つたのである、その信濃丸が海戰の朝第一に敵艦隊を發見しその警報を拙者が三笠にて受けると云ふ廻合せは不思議の因緣だね—『敵の第二艦隊見ゆ』との警報があつて東郷司令長官は聯合艦隊を率ひてこの鎭海灣を出發された

『敵艦隊見ゆとの警報に接し聯合艦隊は直ちに出動し之を擊滅せんとす本日天氣晴朗なれども浪高し』の大本營あて電報は當時の名文として喧傳されてゐるがこの電報は出港のとき發せられたのである

その朝は海面に『もや』があり波も相當にあつたから艦側に激する波を踏みつゝ灰色の沖合に向け朝靄を踏んで艦隊が鎭海灣から[illegible]海戰に出て往く光景は威風堂々のうちに悲壯の感じがした

その當時の東郷司令長官副官は參謀長が故加藤友三郎大將で先任參謀が故秋山眞之中將でその次席が今度日本海々戰記念塔除幕式の爲め鎭海に來られる飯田久恒中將であるが當時は少佐參謀で、拙者は大尉參謀であつた

午後一時五十五分彼の有名なる信號『皇國の興廢は此の一戰に在り各員一層奮勵努力せよ』は揚げられ、間もなく五十七分三笠から約一萬メートル位の所にほゞ行き違ひの格好で待ちに待ちたる露艦隊が現れた旗艦『スワロフ』が先頭で、煙突が黄色に塗つてあつた今でも眼を閉るとあの時の露艦隊の格好はよく見えるよ

二時五分我艦隊は、よく問題になる左舷に大回頭の運動をなし敵の先頭を壓する隊勢をとつた二時七分頃約八千メートルの所で敵はまづ打ち出したわれは滿を持して放たず二時十分約六千五百になつてから我艦隊は砲火を開きこゝに乾坤一擲の大戰鬪が起こつたのである

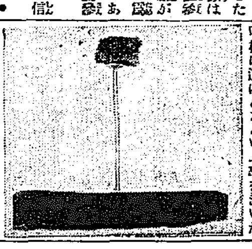
彈のあたつた咄をしようか、東郷長官は三笠の羅針艦橋に加藤參謀長秋山參謀と一緒に居られた、飯田參謀は後備の參謀と云ふ格好で司令塔の中に居た、否な仕舞つて置いたのである、拙者は信號の用事があるから司令塔の外に居たこの配置は前年黄海々戰のとき一發の敵彈で參謀が一度にやられた苦い經驗に因り參謀をばらまいて置くと云ふ意味であつた

東郷長官が艦橋に露出して居られる事に就ては議論があつた一同から司令塔の中におはいりになる樣御願したが御聽容れなく終始艦橋に居られた、これは近頃艦長居にもするが有名な咄である

砲戰は始まつた、こちらの彈はよく中つた鎭海灣に於ける猛訓練の後であるから實によく中つた距離は段々近くなつて五千內外であるから彈が中つて火の出るのがよく見えた、暫らくの間に敵の旗艦『スワロフ』は我砲彈の命中爆裂による全く黑煙に包まれて仕舞つた、拙者はする丈の信號も濟んだから司令塔の外で砲戰の光景を眺めて居ると二時二十分頃艦橋に激震を感ずると同時に前は全く見えなくなり、あたり近邊は濛々たる煙に包まれ、そのなかに眞紅の火の線なものを見た、これは敵の十二吋彈が司令塔甲板下の右舷側外舷に中り爆裂したので、此の一彈は拙者は方々に惡戯をした、このとき拙者は非常に強い空氣の壓迫を感じた、軍帽は脫けて仕舞つたが顎紐をかけて居たから背を脊負つた樣になつた。額々痛つた樣な氣がしたから觸つて見ると手に血がついたので鼻梁に至る他眼瞼の負傷をしたのを知つた

自分の右側に居た信號員が『參謀の肩からこんなものが落ちました』と云ひながら何か拾ひ上げ『熱つい』と云ふて捨り出したのがこの彈片である

兎も角今の爆裂は大きかつた長官はどうであつたかと思ひ左舷の方から（右舷側は司令塔甲板が下から吹き上られ大きな穴が出來てあるけない）艦橋にのぼろうとしたが鐵の梯子ははづれて餘の樹によれてゐた、やつとの事で上り長官も一つ上の羅針艦橋にゆき長官の御顏を見てホツト一息ついた—無論艦は盛んに砲戰中でこの時我からわれに勝ち目は見えて來た—だしい間であつたが（今のたまは）と司令塔附近の損害を報告つてゐると『參謀はこゝにゐてはいけない』と參謀長からしかられ元の位置に歸つてくると司令塔の中にゐた飯田參謀は眼をやられ重傷で下甲板に運ばれたといふ話をきいた



當時の記念すべき爆彈破片

この頃から陣形をかへる信號の用事があり又忙しくなつたから暫時司令塔甲板で働いてゐた敵に遠ざかり砲戰が一時中止になつたとき右舷後部水線附近に受けた敵彈の爆發孔があるとの報告があつてそれを調べに行つた歸りに下甲板の飯田參謀を見にゆき軍醫長から『飯田參謀は頭天に負傷した、骨に大した故障はないが頭の事だから大事にして居る』と聞いた、飯田君もいはゆる運のよい方で、彈片は眼瞼をつらぬき頭の頂天に丁度鉢卷なかみそりで切つた樣な傷を殘しただけであるが、あれが二三分下ればとてもむつかしかつたのである」飯田中將は歐洲大戰の末期から平和會議時代は在英大使館附海軍武官で大いに苦勞され、白髮が急に殖えて今はゴマ鹽のおぢいさんであるがゴマ鹽のなかをさがしたらキツト立派な記念物が現れるに相違ない

拙者の樣なあるかないか判らない樣な『ケチ』な傷ではない、破片が拙者の肩から落ちたといふのはそら目給え、この通り僕は背だから、こゝの所に服に大きな穴が出來る、この彈片は鐵の帽をうまく左から右へぬつたものらしい、後で服を調べて見たら背の左と右に焦げ穴があつた、その服は東京で震災のときに燒けて仕舞ひ、不思議に、この彈片だけが殘つて昔噺をしてくれる、若しこの破片が五分前により、闘艦をかすめた所が五分後ろに下つていたら今日までこの通りピン〳〵して御奉公が出來、『記念塔は除幕式まで進んで御目出たふ』などといふてはをられないはずだネ

東郷大將に敬意を表しに往つた彈片は奇蹟的の旅行をしてゐる彼の十二吋の敵彈は司令塔甲板の下で炸裂し司令塔甲板を下から上に吹き上げ一部は司令塔のなかに吸はれ込み飯田參謀覺郵木曾長に重傷は負わせそれから外に居た拙者に一寸失敬したが他の大きな塊は右舷側で船首甲板を下から上に拔け更らに羅針艦橋甲板を下から上に貫いた所が丁度そこが羅針儀保護の直ぐ側であつたから羅針儀保護の爲にその周りに樹てゝあつた兵員釣床の中にモグリ込んだ、炸裂してからあちらを貫きこちらにあたり長途の旅で奴さん餘程疲れてゐたと見え釣床內の毛布にブツカテからそこで止りよい氣持ちになつて仕舞つた處が東郷大將は其釣床に倚り掛り戰況を見て居られたのである、この彈片が五寸程後に下かつて羅針艦橋に出たらそれこそ但に大國だつたネ

その彈片は戰鬪が濟み釣床を整頓するときに發見されたのである、隨分大きなものだよこの彈片の百倍もあらう

彈片は戰爭後長官室に飾つてあつたが三笠は三十八年の九月に砲塔爆發の爲佐世保港内で沈沒した、彈片もその儘港中にはいつた、それから三笠を引揚げる前に先づ潛水夫を以て重要書類の引揚にかゝつたとき、物に恬淡なる東郷大將は私物の事は一切問はれなかつたが『あの彈片が見付かつたら』とタク一言仰せられた事を記憶する潛水夫に命じて長官室を探させうまく發見したので御手元に上げて置いた、儘か彼の彈片は橫須賀にある記念艦三笠のなかに大切に保存されてある筈だ、小さな趣の細工物がつけてあつた樣に思ふ（文責在記者）

內閣改造と 床次氏の去就

內務の椅子を明渡しても 入閣は絶對すまい

【東京電報】床次氏は目下湯ヶ原に靜養しつゝ政界の動きを觀望してゐるが內閣側では改造に際し同氏の入閣を熱望し手をかへ品をかへ勸說してゐるが、望月內相の如きも若し氏が入閣を許諾せば內務の椅子をあけ渡すも苦しからずとなしてゐる。一方當の床次氏は飽くまで入閣の意思なく、新黨樹立直後の同氏が現內閣に入ることは同氏の態度を曖昧にするのみならず、不戰條約問題その他で內閣の運命を危しと見、この際入閣は絶對不可と見ており田中首相としては議會以來の行きがゝり上改造に際し一應は床次氏に入閣を懇請するとなる模樣である

新政策を確立して 輿論轉換を畫す

政友調査事項決す

【東京電報】政友會では新政策を確立して輿論の轉換を計らんとし目下政務調査會において穩々研究中であるが山崎政務調査會長は總裁の同意の理事會に於いて決定した各委員に基づき、今後特別委員會を設けて調査すべき事項を決定し、各委員に調査を依頼した

一般調査事項として擧ぐべき項目等を整理してゐたが大體成案を得たので二十五日午後一時から政務調査會理事會を開き、三時より政務調査會役員と幹部との聯合會を開いて諒解を求め、更に來月初旬政務調査會を開いて最後の決定をなすはずであるが今回設置される特別委員會は

一、公私經濟、浪費節約に關する特別委員會
一、失業救濟に關する特別委員會
一、就職難救濟に關する特別委員會
一、農村生活救濟に關する特別委員會
一、小金融機關整理に關する特別委員會

等で金解禁問題、國債整理問題等はなほ別に何等かの形式をとつて研究する方針である

舊部下の一人から 馮氏に辭職勸告

國家の大亂收拾上

【北平廿五日發電】馮玉祥氏の舊部下で閻錫山氏の指揮を受けてる韓復榘氏は本日馮氏に對し國家の大亂を免るべく速に辭職されよと打電した

奉安祭參列の外に 威海衛返還交涉

英公使南下の用務

【上海廿五日發電】英國公使ランプソン氏は目下上海にあり、二十九日當地發南京に赴き孫文奉安祭に參列の豫定であるが、支那側の情報によれば同公使今次南下の使命は奉安祭參列以外に、威海衛の租借地返還問題の交涉にある、即ち威海衛はさきに太平洋會議で返還に決定し、その後民國十四年に租借期限滿了となり、英國は北京政府との協定草案に基づき國民政府との非公式において既に返還すべきことを承認した、たゞ劉公島等に英國軍艦を碇泊せしむる權利のみを要求してゐるのであるが、支那側はこれを承認せず懸案として持ち越されてゐるものであつて今回これが解決をなすため交涉を續行するといふのであるがその成り行きは我旅大租借期限と關聯して日本としては相當注目を要する

山梨總督 園公訪問

【東京電報】山梨總督は二十五日午後三時一木宮相、倉富樞府議長を訪問したる後、駿河台の私邸に西園寺公を訪ひ上京挨拶を述べたる後朝鮮統治につき詳細報告して公の諒解を求めた

馮玉祥氏 外遊勸告

閻錫山氏から

【北平二十六日發電】閻錫山氏は二十三日附にて馮玉祥氏に對し西北の情勢を見てこの際外遊せんことを勸告せる通電を發したがその文中には馮氏が外遊せば閻氏自身も行動を共にする旨意を述べ中央政府に對しては馮氏討伐令の發布の停止を斡旋してゐることを附言してゐる

山西中立否認

【北平廿五日發電】山西中立說につき國民政府駐平辦事處および山西側では絕對にこれを否認し、最近有力なる擧軍が綏遠方面に大迂回し山西西部地方は危機に瀕せるため閻錫山氏は再三蔣氏に討馮總攻擊令發布を要求せる事實があると洩らしてゐる

北愛蘭の 總選擧結果

統一黨優勢

【ベルファスト二十五日發電】北アイルランド國會下院の總選擧の結果は二十五日殆ど全部判明した各派の當選者數は左の通りである

統一黨三四、國民黨一一、獨立統一黨二

即ち定員五十二名中結果の判明せるは右の四十八名で殘るはブルファストのクウイーンズ大學の四名であるがこれは全部統一黨より當選確實である。この四名を加へ統一黨を合計三十八名とすれば總選擧前に比し各派の議席增減は左の通りである

統一黨六增 國民黨一減 獨立統一黨三減 勞働黨二減

露大使抗議

自由出漁問題

【東京電報】駐日ロシア大使トロヤノフスキー氏は二十四日午前十一時外務省に吉田次官を訪問し露領水產組合の自由出漁聲明問題に關し抗議を申込む所ありしに對し吉田次官は同問題の解決に就ては專らモスクワに於ける交涉に期待しをり同交涉の圓滿解決を一途に希望しをり自由出漁の計畫は全然關知する處に非ず妥當の處置を講ずべしと回答した

會

武藤特命全權大使祝宴 第二特命檢閱使武藤信義大將は六月一日午後五時から朝鮮ホテルに朝鮮の名士を招いて晩餐會を催す

實業俱樂部例會 朝鮮實業俱樂部にては廿八日午後六時より銀行集會所に例會を開き居上小河殖務課長の講演ある筈

放送局社員總會 京城放送局では五月三十一日午後一時より貞洞の同局內に於て第三回定時社員總會を開き左の件を附議協議する筈

會議事項
一、昭和三年度事業報告承認の件
一、昭和三年度會計報告承認の件

人

◇伊丹儀平氏（鎭南浦實業家）二十六日朝入城笑福旅館へ
◇白石光次郎氏（江原道財務部長）二十五日夕入城旭前屋へ ▲松島淳氏（金山郵便局長）二十六日朝入城同上 ▲林盛五郎氏（淸津郵便局長）同上 ▲堀川淸吉氏（咸興殖銀支店長）二十六日朝入城京城ホテルへ
◇安田彥太氏（東京實業家）二十六日入城天眞樓へ
◇樋口通氏（朝鮮水電社長）二十五日退城
◇大野伴睦氏（東京市會議員）二十五日退城大連へ ▲千葉傳己氏（東京每日社長）二十五日退城
◇西村道彥氏（第一銀行取締役）二十五日入城天眞樓へ同上
◇上田勇氏（元山郵便局長）二十六日朝入城同上
◇菅原傳氏（代議士）滯在中の處廿六日午前十時十分發車東上
◇松岡正男氏（本社々長）廿六日午後十時廿分發日本海々戰記念塔除幕式臨場の爲鎭海へ出張

侠艶靈劍

平山蘆江閱 藤島一虎作 竹中英太郎畫

【47】

美男拚競（一）

千代田の城の大奥、男禁制の女護の島の扉が開かれて、綺羅を飾つた五百の女達が一齊に、今日の秋季お能大催しの拜觀に出る。將軍綱吉を正面に、右には生母の桂昌院、左には愛妾お傳の方。桂昌院の傍にはお氣に入りの護持院隆光が控へ、將軍の脇には寵臣柳澤美保が控へてゐる。その他文武百官、諸大名、旗本八萬騎、皆それ〴〵に控へる。遠來東都には、指定陪觀の光榮に浴した、町の諸有志が、選所れぬ裃袴姿で、窮屈さうに控へる。古今稀なるこの晴れの舞臺に、舞ひかつ踊るのは、桐の間番士にお次番の若侍達である。

やがて催しはじめのお大鼓が鳴る。

四家の宗家の舞初めの式が終ると、將軍自らの仕舞となる。將軍のつぎに桐の間番の侍達が立つ。

つぎはお次番の連中である。番組通りに進行して、最後が風流催しである。

『十六人の小姓一隊に、紫綸子に金銀糸を以つて、桔梗の紋を縫ひた振袖の衣服に金作りの大小に、眞紅の下げ緒をつけたるを帶し、鼓笛太鼓の拍子につれ踊り出でたる有樣は、あたりまばゆき許り艶き渡りて華やかなり』と、當時の記錄を、鸚鵡籠中記にかく記されてある如く、この風流催しは、嫉妬眼を奪ふ許りの華麗さである。

これを最後に催しの幕は閉ぢられた。

女護の島に歸つて來た女達の眼は、まだうつとりと夢でも見てゐるやうで落ちつきがない。

『同じ御殿に勤めてゐ乍ら、年に一度か二度お顏が拜めないとは、まあ何といふ不幸なことで御座んせう』

『ほんにお龍樣の云はれる通り、妾達は不仕合せなものは御座んせぬ。あれ程綺麗な踊方と同じお城につとめてゐ乍ら……』

『妾は實家にゐた頃、度々歌舞伎芝居を觀ましたが、桐の間番の踊方や、お次番の踊方のやうな、あれ程綺麗な踊方は一人も見た事が御座いません』

『さうで御座ろう。あの踊方達はお上の眼鏡に叶つて選び出された人々、綺麗な筈で御座んすわいな』

『あの樣なところを見せられると却つて眼の毒、虫の毒、今夜は眠れさうも御座いませぬ』

女達は我をわすれて、その品定めに無中になつた。

『妾はお年若の御鑑樣千代之助樣が、今だに眼先にちらついてなりませぬ』

『妾は疾から惚れてゐた、三國文之丞樣が好きで御座んす』

『妾は三國樣を……』

文之丞の人氣はこゝでも一番だつた。こんな噂を隱匿もなくするのは、奧女中の中でも一番下のお末達である。

が、將軍の御寵愛を默むつてゐるお局達の中でも、ひそかに思ひを寄せる向きは少なくなかつた。

『さあさ、こんなところを御主人お局に聞かれやうものなら、またお叱言で御座る。思つたところで叶はぬ戀ひ、それよりも臼挽歌でも唄ひませうよ』

お末達の仕事の一ツ、粉ひき臼を廻しながら臼ひき歌がやがて始まつた。

『わたしや深川見深育ち、お顏さん見たよな、ばかがよい。』

よういく〳〵よういやな。

豫報	晴後曇
氣溫 廿六日正午	二三・七（攝）
廿五日最低	一三・三（攝）

あすの天氣（27）

滿洲北部の高氣壓は日本海に移り小笠原島附近のも海上の高氣壓は不動で半島の東海及び南部は曇り其他は天氣が良く中部以南の氣溫は昨朝より三度內外低くなつた明日は次第に曇りがちとなる

コロムビア邦樂レコード
ユニープロセス 針音のないレコード
Columbia

六月新譜
松竹俳優座談會 戀愛講座 一枚
初夏の宵……赤い酒、青い酒をくみ交はしつゝ松竹スター連が、各々蘊蓄から吐露したユーモラスなる戀愛哲理。此の一枚を世の凡ゆる若人に捧ぐ……
長唄 松の綠 杵屋勘次
箏曲尺八 千鳥の曲 野村景久
芝居囃子 歌舞伎合方集
滑稽阿呆陀羅經 モダーンハツ當り 吉野家花山
俚謠 じよんがら節 函館くに子
同 正調小原節
同 秋田追分節
浪花節 佐倉義民傳 松風軒榮樂
同 南部坂雪の別れ 東家樂燕
映畫物語 英傑太閤秀吉 國井紫香
ハーモニカ合奏 六大學校歌集 宮田東峰指揮 宮田ハーモニカバンド
兒童レコード
童話劇 猿蟹合戰
白熱的に歡迎されつゝある 特別發賣二曲（既發賣）
淸元 三千歲（三枚） 淸元延壽太夫
日活特作映畫 映畫劇 からたちの花（二枚）
お買上は全國到る處のコロムビア販賣店にて
日本コロムビア蓄音器株式會社

更生支那の大業全く
孫氏の靈柩けふ南京へ
日本側から兩氏も參列して
ゆふべ碧雲寺に最後の祭典

【北平廿五日發】北平における孫文移靈の最後の祭典は二十五日午後十時より西山碧雲寺に擧行され宋夫人宋慶齡、孫科氏夫妻その他親族および日本側より山田純三郎氏與那原良一氏等參列、柩前に飾られた米國製の銅棺には青天白日滿地紅旗がおほはれやがて軍樂隊の『哀しみの曲』奏さるゝや孫科氏は未亡人宋慶齡とともに靈前に三角の禮をなし花輪を捧げたが未亡人はさすがに悲嘆新たなるものあり棺の前にひざまづきよゝと泣きくづれた、家族、參拜終るや吳鐵城、林森、鄭洪年等國民政府派遣委員その他各官廳代表者最後の告別をなしたがすでに夜は次第にふけ祭時となるや靈柩は親族知友政府代表等の手により碧雲寺の前に整列せる衛兵の護衛を受けて午前一時山麓の夜氣深きところ南京移靈の第一歩を印した

古典をそのまゝに
蜿蜒長蛇の行列
宋未亡人などにまもられ
哀しみの曲に進む

【北平廿六日發】北伐成功以來約一年を經過した孫文の靈前にはこの一ヶ年與花圈香の絕へ間なかつたがいよく南京に遷移されると定まつてからは碧雲寺に參詣する人は頓に增し殊に二十三日から三日間にわたる

公祭 は非常な盛儀を極め前例の如き嚴後の終典終るや二十六日午前一時頃夜來宋未亡人等の遺族および吳鐵城等國民政府代表以下內外各機關、團體に守られ孫文の遺骸は支那の古典に則り靈轎なる棺に移され百二十名の槓夫に擔がれて靜かに碧雲寺の山門を出た、門前には移靈行列に參加する軍隊、軍樂隊が整列して靈柩を待つてゐたが、靈柩山門を出るや警衛隊長の先頭によつて行列は靜々として行進し始め交通國旗・黨旗を捧持して衛兵隊に續いて軍樂隊は哀の曲を吹奏して行進

次いで步兵四個中隊に前後を護衛された孫文の靈柩は遺族、各界代表に送られながら西山から玉泉山、香山團を經て西直門に至る十數マイルの西山街道を北平城に向つて進んだ

通路 には行列の通過前から數町毎に兵を配して通行人の往來を禁じ、交通遮斷を嚴めたが附近の住民は沿道に堵列して靈柩を見送つたかくてこの行列が西直門に到着したのは午前十時、この日北平城內の警戒は非常なもので北平警備の軍隊、反動分子の陰謀策動に恐れをなした平津衛戍司令部では各城門をあけず城內に戒嚴令を布き各商店をしめ通路は行列通過前に早くも車馬を斷絕して一切の交通機關を停止せしめ通行人の往來をも禁止したので行列をみんとするものは數時間前からおの／＼指定の地に整列しおらねばならない狀態であつた

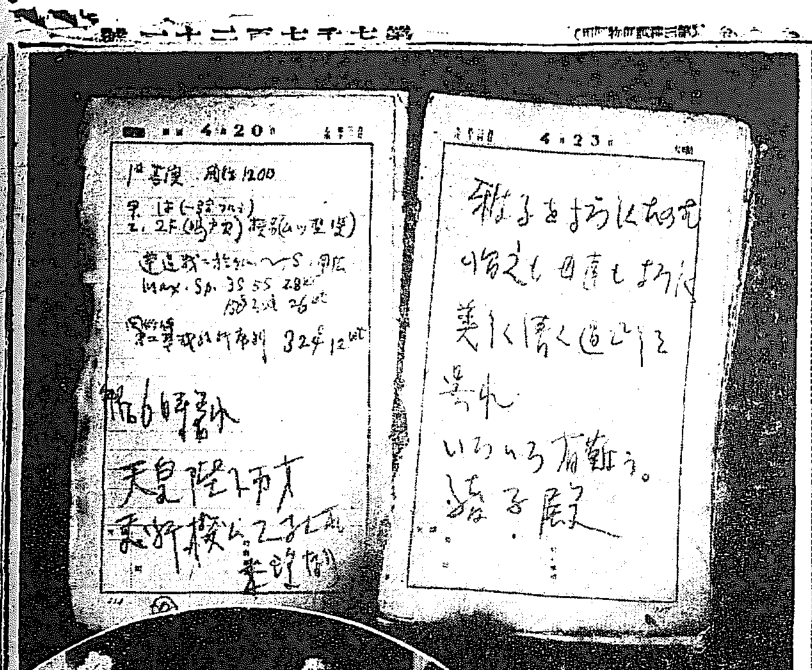
公使館始め外國人も半旗を出してこの國家的祭典に國際的禮儀を表示した、

かくて午前十時西直門を入つた靈柩はこゝから正式儀仗行列に編成され先づ騎兵隊長が先頭となり國旗、黨旗を持つた騎馬隊若干がこれに續きこの儀仗の總指揮たる平津衛戍司令代理商震氏は步兵一中隊を率ひてこれに次ぎ北平警備司令、公安局長趙以寬、憲兵司令楚溪春等それぞれ關係各機關代表を安置する遺像亭に次いで國民政府代表各國公使館員および外賓等進み最後に大きな青天白日旗でいろどられ百二十名の槓夫に擔がれた孫文の靈柩は喪服した遺族、中央執行委員、國民政府代表、河北省北平特別市各部局長、省市政府委員等に護衛されて靜かに進み四十名の儀仗兵に靈柩をまもられて靜々として進み軍樂隊

警察 その他各團體の代表數千名は、その後に續き與驥二里余の長蛇の列は國民革命の指導者に對する崇敬とこの空前の盛儀をみんと沿道に堵列した北平市民に見送られながら西四牌樓から西單牌樓に出で西長安街に折れ天安門から中華門、正陽門を出で正陽門驛に着いたのは午後四時であつたかくて孫文の靈柩は驛に待機された十二輛より成る靈柩列車に移され宋慶齡女史孫科夫妻始め遺族および吳鐵城等國民政府代表に見まもられ蔣介石より派遣された護衛の兵團の下に外交團および北平各機關各團體代表多數の見送りを受け軍樂隊の奏樂裡に五時發車津浦線で南京に向つた

各戸に半旗
殷々、禮砲百一發
軍樂吹奏裡に
津浦線を南下す

これより先午前七時半準備を整へた砲兵部は天壇門において百一發の禮砲を放ち各工場は汽笛を鳴らし各官衙各機關、學校をはじめ一般市民は各戸に半旗を出して哀悼の意を表し諸支各國



調停說などは
以ての外だ
風評を打消して
犬養翁語る

【上海二十五日發】蔣、馮衝突時における支那時局混亂につき支那人一部では犬養、頭山兩氏は兩者の間に立ち平和的解決を勸告するとの說が傳はつてゐるが犬養老はこれを眞つ向より否定して語る

全く國內的の問題に老人の我々が調停をはかるとか、くちばしを容れるとかはもつての外である

なほ頭山老は六月五日歸京する

兩翁の動靜

【上海廿五日發】在滬中の犬養、頭山兩翁は二十五日午後一時日本人倶樂部における早稻田大學校友歡迎會に臨んだ

筆蹟もあざやかに
「天皇陛下萬歲」の絕筆
空の兩犧牲者の遺骸に
鎭海で手厚い弔ひ

【鎭海特電】去月二十一日濟州島附近において航空母艦赤城より飛行せる飛行機が天候險惡なりしため不時着行方不明となり同月二十二日その所在において死去の

認定 をなし同二十八日葬儀を執行したがその後なほ死體の搜索中であつた、當時犧牲者故海軍少佐瀨戸氏故海軍大尉小島氏の死體をくしき因緣といはふか小島大尉の出身地たる鎭海の[illegible]において死體を收容し、方魚津においてて盛大なる葬儀を執行し同地においても[illegible]大尉および小島大尉の遺骨は[illegible]二十四日午後六時三十分鎭海に到着[illegible]に安置し、鎭海司令官以下[illegible]同機の[illegible]んごろに弔つたこの兩犧牲者の遺骨は小島大尉の遺族の手により[illegible]なる死の[illegible]に『天皇陛下萬歲』を一期の絕筆として從容死についたこの兩勇士の遺骨は小島中尉が[illegible]五日午後二時三十分着列車にて

來鎭 し鎭海に[illegible]

(葬儀は[illegible]二十六日鎭海[illegible]に[illegible]して[illegible]兩勇士の祭壇)

不敵な
僞憲兵

二十六日午前二時頃京城府黃金町今村病院前を本町署齋藤巡査が私服で警戒中突然暗から『おーい貴樣は騷ぐだらう』と怒鳴る者があるので『おれは誰だぞ』と一喝をくはすや男は『おれは憲兵だ』といひつゝ京畿道憲兵隊のスタンプある手帳と捕繩をしめし通行人であつた黃金町二丁目朝鮮人草履職[illegible]を指さし『こいつは申告ものだから案內してくれ』といふやいなや巡査にとびかゝつて來たので格鬪の末組伏せ本署に連行取調べたところ男は[illegible]生れ當時本町三丁目[illegible]番地[illegible]と判明、憲兵と僞稱してゐるだけに本町署では目下嚴重取調べ中である

夏痩せを防ぐ法
醫者方も惱まされる夏痩の防ぎ方、專門大家苦心の研究、婦人倶樂部六月號に發表大變な評判です！

無斷放送で
カルメンの縺れ
JODKと金曜會の
軍扇は何れに

廿五日JODKでは夜間演藝放送として愛生流謠曲、琴四重奏、ラヂオドラマ、以下等々を放送したが、右放送プログラム中京城ラヂオドラマ研究會員の放送したラヂオドラマ『カルメン』は著作者に何等の交渉することなくして無斷放送せるもので同局の創立當時『先夫の子』『[illegible]』を無斷放送して起された著作權侵害問題が再びひきおこされやうとしてゐる右カルメンは東京文藝協會の權利に屬するもので川村花菱氏の脚色になり、登場人員十一名を要する大がゝりなものであるが、京城における唯一の演劇研究團體金曜會では特に同氏と交渉し登場人員十人となるものにちゞめて改作、すでに舞臺で演じたのは曩ちこの改作カルメンであり金曜會では同日のプログラムが發表された折、萬一の事があつてはと廿四日放送局に注意する所があつたが、廿五日の放送はこの注意を一蹴したもので一言の挨拶もなかつたので こゝに金曜會では正式に東京文藝協會に通知するとともに放送局の出方如何によつては法律上の手續きをも辭さないといつてゐる

我々を無視したやり口
金曜會の談

金曜會幹部某は語る『實に我々をくつたやりかたです、「カルメン」の放送プロを見ましたとき、萬一の事があつてはと我々は放送局に注意しましたが、ラヂオドラマ研究會とはどんな團體かわかりませんがわれ／＼の忠告を一蹴して放送したのです、我々として一應ことはつてくれさへすればあへてとがめはしませんがこれを知りつゝ大膽に放送した行動は實に憤慨にたへません

注意は拂つたが
放送局の言分

右につき放送局を訪へば牟田放送主任は大いに驚きながら次ぎの如く語る

『只今金曜會の幹部から電話がありましてそれと知り非常に驚いて居るところです、カルメン放送の前日、金曜會から注意がありまして早速ラヂオドラマ研究會の方に通知しそれと抵觸する樣なれば取りやめやうとさへ考へたのですが研究會の方から大丈夫だとの返事を得ましたので放送したのです、之について どうするか、直ちに研究會にその旨通知しましたので何れ何んとか解決策を講ずるつもりです』

安宅甚助に
あす判決

擬似判事[illegible]を求刑され滿廷の人々の涙をそゝつた殺人事件の主人公安宅甚助にかゝる判決はいよ／＼二十七日午前十時より京城地方法院第四號法廷で末廣判長係の下に開かれる事となつた

子供服ハ 本町三 ギンザ 電本三六四番

今明夜 入場無料・來聽歡迎
佛教講演會
主催 佛教濟世軍支部
來青閣

日本軍に向ひ
實彈を發射
支那巡警十數名が
奉天近郊で暴行

【奉天廿五日發電】奉天近郊五房において夜間演習中であつたわが奉天駐箚隊に對し突如十數名の支那巡警が實彈を發射したので日本兵は直にこれを追ひ擁ひ內三名は取押えた、日本兵に負傷者はなかつた

南大門通りで側面衝突

二十五日午後四時頃京城府六五五號自動車が既報[illegible]南大門より朝鮮銀行に向つて疾走中南大門三丁目の角カーブ地點で進行中の京城六三號と側面衝突をなし雙方共硝子を破損(二十圓)自動車も大破して百二十圓の損害をうけたが雙方共負傷者を出さなかつた

旅館荒し逮捕さる

廿五日午後十時頃府內義州通一丁目四十七番地[illegible]旅館から出て來る擧動不審の男を義州通派出所巡査が取調べると、右は[illegible]の旅館荒しで[illegible]前記旅館に客を裝ふて入り込み寢室から現金十二圓余を竊取逃走するところであつた餘罪ある見込み

安部の敗退で
日本側失格
3—1ヴァンリン勝つ
デ盃米國ゾーン

【ワシントン廿五日發電】デ盃戰アメリカンゾーン第二ラウンド日本對アメリカ戰安部對ヴァンリンのシングルスは安部の奮鬪もアメリカのエースヴァンリンに向つては力およばず第二セツトを奪ひたるも遂に破れこの試合を以て日本は遂に本年度デ盃戰に失格することとなつたスコア

ヴァンリン	六	四	八	六
安部	三	六	六	二

太田敗る

【ワシントン廿五日發】二十四日のヴァンリンとのシングルスにおいて勝利を博した太田選手には廿五日の對ヘネシーのシングルスも多大の期待がかけられてゐたが、ストレートで破れ日本は四對一の成績で本年度デ盃戰から敗退することゝなつたスコア左の如し

ヘネシー	六	六	六
太田	二	二	二

海州の南山
遊覽道路を新設

海州市街の南にそびえ市街を一望する南山は勝景絕佳自然の大公園であるが道土木係では今回自動車で自由に登られる遊覽道路を計畫し近く入札に附し工事に着手する事となつた道路は第一、二、三期に分ちて改修しその延長およそ二千間これが完成のあかつきには海州市街を離れ山々を一周するわけで第一期分は凡そ五百間、本町驛前の四つ辻より市場前に出で救世病院前を過ぎて南山の頂上に登り第二期は頂上を迂回して南側の中腹を過ぎて龍馬池に出て新海園橋上り新海園橋に至り廣石川より海州面に出て海州神社に登り海州公園を過ぎて師範學校前に出でて一周する計畫である(海州)

自動車人を轢く

二十三日午後四時頃平北朝鮮自動車第七三號が邑內より宣州方面に向つて進行中、川前里[illegible]前において[illegible]女中外川トモは左腳骨折、同乘者[illegible]旅館[illegible]女代は顔面に輕傷を負ふに至つた[illegible]は直に道立醫院にて手當を受けたが間もなく絕命した(宣州)

模範町村視察

咸南では例年府郡町村職員邑面長の內から十名內外を選拔して內地模範町村視察に派遣して居るが本年は▲成興府[illegible]▲[illegible]▲甲山郡[illegible]長▲斗河▲永興[illegible]▲[illegible]長▲利原西面長▲洪原[illegible]面長▲北青[illegible]▲德源府內面長▲[illegible]▲文川[illegible]の十氏に決定、各地方模範町村[illegible]廿七日から三週間島根、福井、石川、富山、長野、新潟、東京、大阪の各府縣下を視察することになつた

鐵道對京電

官業聯盟リーグ、京電對鐵道第二回戰は快晴の廿六日午後一時二十五分から久方振りに龍山鐵道運動場に於いて開催された、京電は相かはらず久禮をプレートに送り一方鐵道はホーム、グラウンドなるを利して一擧に強敵京電を屠り通敗をお名を注がんものと、決死の色をみなぎらせ、新池西村を起用して久禮に對立、鐵道側の應援盛んである 球審渡邊、壘審、立石、島崎

	一	二	三	四	五
鐵道(先)	〇	〇	一	〇	〇
京電	〇	〇	〇	〇	〇

便所くさみ止は 專賣特許 イマヅ芳香油に限る！
便所や不潔の場所へイマヅ芳香油をマケば、芳香を發し臭氣を完全に止め、ウジを殺し蚊蠅の發生を防ぎ、大なる傳染病豫防となる。殊に旅館、料亭、貸座敷等には取り分け必要であるから、これからは是非使用されたい。又衛生大掃除には便所、床下其他不潔な場所へ本劑をマカれるがよい。
南京虫には霧吹きでカケると即死し、蚊、蚤其他害虫に刺された時にツケると痛痒はスグ直る。到る處の藥店其他にて販賣、品切れの時は大阪市東淀川區三國本町・今津化學研究所へ申込

京日案內
乳母 至急入用 內地人を問はず雇入れたし 京城府壽町 長崎屋新聞店へ
齒科 技工士被雇度 給料月二十圓 年廿三才 御一報乞ふ 京城驛前 林旅館內 大田生
ラヂオ 大特價提供 朝日乾電池GS蓄電池 本町四丁目 京城府大通商會 電本一二八
看護 婦及見習至急採用 本人直接來院ありたし 希望者は履歷書持參 本町二丁目 山田病院 電本二八〇番
貸倉 京城驛前 三十坪 月四十圓 旅館 電本四七三 ツヅキ商會本店
人材 を求む 但外交で成功 失敗者、甦生の意氣有る者 仁川府[illegible]町二ノ三 小西
恩給 年金長期低利立替 手數料は同業者へ引換割引返す 京城本町 電本六四番
融通 月收の御方へ極秘迅速 又は信用で御一報何上
恩給 [illegible]
梅毒 淋病專門 注射專門 龍山元町一丁目 島田醫院 電龍五四一
恩給 年金長期低利立替 [illegible]
井戸 掘鑿に硬石 [illegible]

筑前琵琶 橘流 調製附屬品一式 定價表送呈 京城南山町三 スミレ琵琶店

白鶴 一杯元氣百倍
醸造元 灘 嘉納合名會社

百日咳內服藥 チミツシン
味は蜜の如く甘く、小兒は喜んで服用し一匙の內服は容易に激しき咳嗽を緩和し、就寢前に與ふれば夜間の安眠を得せしむ。
早期に與ふれば病症の進行を頓挫せしめ、進みたる症狀に與ふれば痙攣性發作の強度と回數とを減じ、餘病併發の危險を阻止す。
殊に百日咳に對しては的確なる病原療法を缺くの今日、安全にして應用に便なる本劑は今やその豫防と治療に缺くべからざる藥劑となるに至れり。
各藥店にあり
發賣元 合資會社田邊元三郎商店

女流浪界の大豪家來る
公演日 五月廿八日より毎夜六時開演
吉田奈良千代
浪花館

太田中川旅館一新謹告
太田の宿屋と云へば中川旅館と眞先きに皆樣の御承知の事でしたが何故か近頃は振はない樣ですから今回私が引受け經營致す事となり萬事改善一新して御客樣方の御意に叶ふ樣細心の注意と精々勉強致す考ですから新たな御氣分でどし／＼御投宿の榮を賜り度伏して御願ひ申上げます 敬具
昭和四年五月
太田驛前(電話二二番) 中川旅館 新館主 立川定吉

朝鮮名物 牛肉平壤煮 發賣元 桑田商店

荊妻ツジ儀病臥中ノ處養生不相叶本日午後六時十五分遂ニ死去仕候間此段謹告候也
追而葬儀ハ明二十四日午後六時三十分自宅ニ於テ佛式ニ依リ相營候
昭和四年五月廿三日
忠淸 唐津 男 坂田仁三
親族總代 友人總代
岩尾格郎 坂田直喬 村岡雄藏 宮原英治 村田一 松山一 中嶋宗 大進力雄

會葬御禮 佐藤小五郎

麥酒界之最高權威

サッポロビール

資本金八千萬圓
釀造高參百五拾萬箱

營業所

東京
大阪
名古屋
札幌
博多
青島
上海
京城

工場

東京目黒
東京吾妻橋
横濱保土ヶ谷
名古屋千種
北海道札幌
大阪吹田
尼ヶ崎
九州博多
支那青島

大日本麥酒株式會社

瓦電問題 双方歩み寄りか
互讓的空氣濃厚

釜山府の瓦電問題に關する委員會府側交渉委員と會社側とは二十五日午後三時より府尹官舎において第二回の會見を行ひ約二時間餘にて交渉委員は揃つて辭去したが會見の內容は前回の會合において會社側より提示した要求案に對し府尹より府の買收案および料金の算定と解決方法についての意見を述べ双方隔意なき意見の交換をしたものゝ如くであつて未だ具體化した解決の本論には這入らないが、前回よりも互讓的の空氣を濃厚ならしめたのは事實である、たゞ今日の形勢では明日も引つゞいて會見し交渉の歩をすゝめるらしいが到底三日間位の短時日では解決するにいたらざるべく從つて交渉委員の滞在も延期し來月三十一日までの契約有効期限も双方合意の上多少延長するやもはかり難く、大勢は多少の增額を見ても此の際解決するを得策とする意見が行はれてゐる(釜山)

五十萬圓程度で妥協

目下極秘のうちにしきりに交渉をすゝめてゐる釜山の瓦電問題の成りゆきについて各方面の注意をあつめてゐるが、交渉委員が主張する瓦電の價格は府尹が提唱する附帯條件その他の方法によつて增額を考慮する說の方がはるかに簡便であるのは勿論知事關係者に對する據點としても公營論を多分に有してゐるので好評である、一般の觀測は第二回の會見が双方ともあゆみ寄りの空氣を釀成し來たつた點と各權利者の論點を歸決するかに興味を持ち、はやくも五十萬圓程度の處で妥協が成立するといふ見當が流布されて來た府成府側においても殆ど府尹の提唱する附帯條件を極力支持しており第一今回の交渉にして決裂をみる時は將來において双方とも想像以上の時期にのりあげるに至りはせぬかと杞憂されてゐる

郡廳から立候補
沙里院の學議選白熱す

明日に迫つた學議選擧は十名の定員の外に鳳山郡廳の池本氏が俄に立候補したので各方面に大なる波紋を描き混戰たる情勢となつた、これについて沙里院有志は緊急會議を開き監督の立場にある郡廳から立候補するは面白からずと今村郡守官宅に押しかけたが、その結果が如何に解決するかは注目されてゐる(沙里院)

釜山の學議選
清き一票の爭奪に狂奔

近來にない混戰狀態を演じてゐる釜山の學議選擧戰は既報の各候補は町內有權者、縣人會、同窓組合等あらゆる關係をたどつて清き一票…

官民總出で松毛虫退治
知事も陣頭に立ち徹底的に驅除する

忠淸南道における松毛虫の被害は年々莫大なものでこれを價格に積るときは數十萬圓の多きに達する、これは獨り森林の被害であるのみならずひいて國家その他の生產にも及ぼす影響は測り知れざるものがある從來こそれが驅除撲滅のためあらゆる手段方法を講じ全滅を期して居るが未だ根絶に到らないのみならずその被害面積は昨年の二萬二千町歩に比し今年は約倍の關係で道內十四郡中十三郡八十六面に亘り被害面積三萬四千五百町歩に蔓延し甚だしいところは一郡の松林は殆ど蝕害せられてあたかも山火の跡を見る樣で其慘憺の狀態は見るに忍びない有樣で道においてはこれを道的な大患たる松毛虫の退治に全力を傾注することゝなりこの際一氣にこれを撲滅する計畫を樹立し左記の如く各郡をして驅除期間を特定し徹底的に驅除を勵行する外二十八日から同三十日まで三日間は道全般の一齊松毛虫驅除デーと定め山林の所有者有無に拘らず部落民たるものは必ず一戶一人以上出役することゝし、これが督勵の監督としては道知事始め道部課長は全部その他各課より參與官、內務財務警察各部長はじめ課長および郡、面、警察署においては郡守以下も數十名、署においては署長以下職員全部、面、森林組合、學校職員全部その他の官公署學校等總てその官公署の職員はこの日に總動員を行ひそれ〴〵陣頭に立ちて指揮督勵することになつてゐるなほ

今回の驅除

の効果期待のため成績等を審査して道地方費より金一千圓を優良郡五等までに下附さるゝはずであるが現在松毛虫發生の郡面別および面積並に驅除期間は左の如し(公州)

郡名	被害面數及其面積(町歩)	驅除期間
公州	十面 二、六六	五、九—五、二六
燕岐	七面 三、一九	五、一三—五、一九
大田	十面 一、七七	五、一三—七、三
扶餘	六面 二、八〇〇	五、一三—六、一四
舒川	四面 六六八	五、一〇—七、一〇
保寧	五面 八四五	五、一五—七、一四
靑陽	十面 一、七六	四、一—五、三一
洪城	一面 一〇	五、一八—七、三一
禮山	四面 五、三一三	五、一三—六、一〇
瑞山	一面 一四	六、一五—七、一〇
唐津	四面 四八九	五、三〇—七、一〇
牙山	一二面 五、〇八七	五、二一—六、一〇
天安	一二面 八、〇二五	五、一四—六、一〇
論山	……	

特命檢閲使 けふ元山へ

特命檢閲使武藤大將は二十七日午後五時四十三分元山驛着列車で咸興より來元同夜一泊二十八日元山要塞司令部および元山憲兵分隊を檢閲の上午後二時自動車にて元山發海金剛方面に向ふはずであるが檢閲使一行到着時の出迎へ並に地方側應接その他左の如し

一、出迎(驛構內)(軍隊)要塞司令部職員學校配屬將校陸軍倉庫支庫長(地方側)官公吏、在鄕軍人分會役員、各新聞記者各團體代表、婦人會々員、路上整列は在鄕軍人青年訓練所生徒青年團諸學校生徒(面接者)驛貴賓室にて要塞司令官、富岡中佐、木內主計正、今西軍醫正、小笠原獸醫正、田邊少佐、深山少佐、秋山少佐(愛媛郡)林中將、今井大佐、山脇中佐、沼田同上、軍司令官、高等官四等以上(府尹、中學校長、稅關支署長、地方法院判事、檢事、海事出張所長、女學校長、在鄕軍人分會長、商業學校長)

因に一行の旅宿は武藤大將副官十九師團參謀長(巴部)憲兵司令官同副官羅南憲兵分隊長咸興分隊長(對久屋旅館)

六月十日の官制改正に實行方法につき近く協議會を開催する筈

◇……大田小學校保護者會役員會は二十八日午後四時より小學校に開催前年度決算報告、本年度豫算編成に就て熟議する

江景實業家 群山を視察

忠南江景實業協會主催の群山視察團一行五十餘名は、二十三日午前九時群山着、直に內務部土木出張所の船に移乘し埠頭設備を視察後、西部港灣に港岸の施設を海上から視察の後米穀市場、稅關、米倉、魚市場を視察後群山神社前より公園に至り、同所より市街並に港灣を展望し、自動車數臺に分乘して群中、高女を視察後公會堂における商議主催の歡迎會に臨んだが、地元群山からは商議評議員、商工會議所會員、同業者その他官民有志約四十名の出迎があり、驛上に赤松氏の挨拶に對し松田驛長の謝辭があつて午後三時過ぎ府廳、小學校、朝日精米所、電氣會社、發電所等を視察し同夜歸山の途についた(群山)

慶北府尹郡守會議

慶北道府尹郡守會議は二十七日から四日間道會議室で今村知事臨席のもとに開催される日程は左の如し(大邱)

▲二十七日 道知事訓示指示事項陳述
▲二十八日 府尹、郡守島司意見陳述
▲二十九日 諮問事項答申打合せ
▲三十日 事務打合せ

運動場を兼ね一大公園を造る
附近の部落も府に編入 大邱府の新計畫

大邱府では西部達城公園裏手に方一里四方の綜合グランドをかねた一大公園を工費七萬圓をもつて建設することになつたがこれと同時に達城面城、城北の三ケ面五千餘戶を大邱に編入することになり目下準備をすゝめてゐるがこれは本年度內に必ず實現するので實現のあかつきは大邱の人口は十二萬となるものである(大邱)

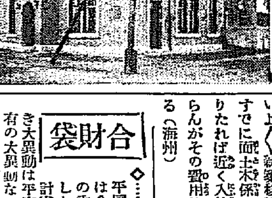
大田から

◇……大田郡教育會では二十五日儒城普通學校に於て第一回の研究會を開催午前中一般授業の參觀をなし午後批判並に研究發表をなした

◇……大田本町東本願寺では二十六日夜大谷派本派本願寺特派布教師須正人師の童話の會を催したが多數聽衆であつた

◇……大田の東京大相撲の錦渡巡業に就き年寄白川氏來田勸進元たる消防組幹部と會見した大田興業は二十一、二日頃の見込

◇……大田面では時の記念日たる……



殖銀支店落成式

新築中の殖銀海州支店は竣工したので廿六日午後二時より擧行會において落成式を擧行し官民百二十餘名を招待した尙同は新築落成した同支店(海州)

道立大邱醫院落成式

道立大邱醫院の新築落成式は二十五日午後一時から同院構內で開かれた參列者は總督代理淺利警務局長今村知事はじめ府內各公衙の長および鮮內各慈惠醫院長京城醫專校長、府內各醫師等三百餘名に達し定刻、井上道衛生課長の開式の辭についで櫻田道技手の工事報告、今村知事および總督代理式辭があり、上村院長の答辭來賓の祝辭があつて閉式來賓一同院內を視察しのち設けの宴席において祝宴を開き盛況裡に午後三時閉式した(大邱)

落成式と開校式

新義州公立小學校の新築落成式は二十五日午前十時から校庭において擧行引續き同一式場にて新義州高等女學校の開校式を擧行した

海州火葬場新築移轉

今より二十年前の建物にしてその設備不完全なるよりしば〳〵問題となりたる海州の火葬場も今回はいよ〳〵新築移轉することゝなりすでに道土木係にて敷地設計を終りたれば近く入札に附せられるならんがその費用は二千圓內外である(海州)

合財袋

◇……平安南道警察部は今回榮轉した人々の內平壤府外へ榮轉した人々の送別會を計畫したが今回の如き大異動は平安南道警察界未曾有の大異動なので料亭では何うしても一堂に會した送別の宴を張ることが出來ぬので廿六日午後三時から公會堂に於て送らるゝ人々十一名をお客に警察部長、大同署、法院その他有力者九十餘名出席の上盛大なる送別會を催した

◇……平安南道では既報の警察官判任官以上の異動に亞いで廿四日附巡査部長五名、巡査十一名の異動を行つた異動區域は平壤、江西、价川、平原、江東、寧遠に亘り司法刑事を中心とされたもので平壤署の如きは七名の刑事が異動した

◇……昭和水利の取水口其他に關し園田知事は廿八日道委員一同を道廳會議室に召集の上委細を報告する

◇……平壤の天然痘は廿五日更に四名の新患者を發見

地方人事

▲福原俊丸男(貴族院議員)二十五日別府來釜北行
▲香椎源太郎氏(瓦電社長)二十五日朝夫人同伴東京より歸來
▲佐久間權次氏(同專務)同上
▲長富芳介氏(慶南衛生課長)二十五日大邱へ
▲齋藤善一郎氏(同學務課長)同上
▲佐藤剛城氏(京城商業校長)來邱中の處二十五日夜行で歸城
▲內村安太郎氏(平、慈惠醫院長)二十五日大邱醫院を視察し二十七日歸壤
▲古谷修輔氏(大田電氣社長)二十四日忠州へ二十六日歸田
▲池田忠南農務課長 新任挨拶のため二十二日江景看板田旅館へ投宿在官衙訪問夜有力者の晩餐會に臨み二十三日舒川方面へ向け出發

維新秘録 井伊大老 (7)

松林伯知演 吉川保正畫

今帥は杉の森の社務所に來て今日開帳する富の札を買ふ。今『何枚殘つてゐますね。』と聞くと世話人が〇『七枚でございますよ。』今『見せておくんなさい。ウン松竹梅に鶴龜でございますね。』〇『札數が多いから六通りにわけてあります。』今『成る程、ハテナ何番の札を買つてよいかどうですね、この札の中にきつと當たる札がありますかい。』〇『それは判りません、どの札が當たると決つてみれば、わたしも買ひます。』今『ウン成る程それは理窟だ。エ一同番を買つたものかナ。』中村正を見に行き梯子を降りる時に一歩ひろつた。その金で買ふんだはしごとこいつは八百四十五番が好いかナ。この札の中に八百四十五番がありますかい。』〇『こゝにある札はその番號に合つてゐます。』今『占めた〳〵、これだ〳〵、鶴の八百四十五番か。中村正の紋は鶴だ、こいつはうまく行くと三百兩當たるぜ。それではこれを貰つて行きます。』と一歩出して其の札を懷中にして、鳥居の下に來て札を突くを待つてゐる。やがて神官が神樂堂に出て祝詞を上げる。これが終ると長櫃を持つて來る。この中には買つた札の番號と同一の札が入つて居ます大の男が四人でこの長櫃を振る。これは札をまぜる爲ガラン〳〵といふ音がする。そこで長櫃の蓋をして蓋をおろす。蓋もこの蓋にはあながあいてゐます。それはこのあなから錐を入れて札を突くその錐にかゝつた札が當たりです。今もつて彼奴は今度突き當て大層もうけたぜなどといふ、それはこの富から出た事ださうです。勸懸僧級ですら滅多にあたらない、ましてこの富にあたるは好運兒。境內に居る人々は三百兩取れるかどうか三百兩取れずとも、兩袖があたれば百十兩にはなる。どうぞこの三つの中一つだけおあて下さるやうにと心の內で神佛を念じてゐる。スルと世話人が袴羽織で神樂堂の中央に立ち、御富——と聲をかける。これはこれから札を突くといふ知らせ。これを聞くと、大勢の人は水をうつたやうにしづまり返つてゐる。人の慾ほど恐ろしいものはない、三百兩で靜かになります。最もこれは富には限りません、お金をくれぬから騷動も起こる。黄金の雨を降らせれば騷動はしづまります。さて札のはいつた長櫃を神樂堂に据ゑて、四方に幣束を立てる。社寺奉行より役人が檢分のため出張いたしをる。さすればあやしい事は出來ません、あやしい事をせずとも社には利益がある。所へ十三四になる男の子が白の行衣を着て、錐を前にして立つてゐる。世話人が晒木綿にてこの少年の目をかくす。やがて少年は兩手に錐を持つて、長櫃の中へポーンと突き入れる。この時むらがる人々はウーンといふ。さうでせう、この錐によつて三百兩の運命がきまる。息を內へひく者ばかり、外へふき出す者はないとか。それに錐の色がかはるさうで、こんなにも金がほしいかと、無關係の人はこれを見て淺間しく思ふとか時に世話人が、御富——と又聲をかける。それをきくと、一同ヂリヂリと進み出る。長櫃へ錐を突き入れたその少年が、ズーッと錐を上げて、その札を人々に示す。世話人がこれを讀み上げる。鶴の八百四十五番——、どう!とどよめき渡る、〇『誰だ誰だ、鶴の八百四十五番を持つてるのは。』△『僕はないよ。』〇『おまへでないはわかつてゐるが、この中には當たり札を持つてる奴もあらう。』△『見出ないなア當オケッコ見たやうな奴ばかりだ。』といつた時に、今した所で、こゝには鶴らしい人は一人は大勢の人が分けて前へ出た。

明石組 新柄揃ひ 京城本町

全鮮庭球選手權湖南豫選

時と處 六月二日午前九時開始、裡里農林學校コート
申込 裡里榮町田島弘苑(五月三十日限り)
ルール 神宮競技ルール(ボールは丸麥)
參加料 壹組につき貳圓(當日持參の事甚食を呈す)
入場料 一般三十錢 學生小人二十錢
主催 京城日報社裡里支局
後援 益山郡體育協會

宮內省御用達
上
景品附大賣出中 九升樽詰
品質日本一
ヤマサ醬油
(御近所の醬油店にてお買上げ下さい)
景品 壹樽毎に花王石鹸貳個と下記抽籤券壹枚呈上
抽籤 八月中嚴正に執行
一組五千枚 當籤番號各組共通

等級	景品種目	壹組の枚數
一等	銀側懷中時計壹個	貳枚
二等	手提金庫壹個	拾枚
三等	丸善アテナ萬年筆壹本	拾五枚
四等	鹿革御紙入壹個	參拾枚
等外	花王石鹸貳個	殘全部

◉但し抽籤の結果等外の方は御買上げの際お渡し致しました花王石鹸貳個を以て等外景品と御承知願ひます
千葉縣銚子町 ヤマサ醬油株式會社 社長 濱口儀兵衛

日本產業最高章 綠綬褒章 御下賜
キヘメ一等の……
猪印のみどり粉
商標 登錄
蚤、南京虫は勿論蚜油虫をわけなく退治られます
安住かざり線香本舖 大阪 安住大藥房

毛髮を美しくする
メヌマポマード
香りのよい のびのよい 落ちのよい 純植物性の 標準頭毛料
小瓶 五〇 大瓶 七〇
百貨店・藥店 化粧品店にあり
M-15
東京 井田京藥堂 大阪

オヤ
タバコのむのがどうしたノ?
と こればまたキッイ御あいさつだけあつて 成程 これはまたキッイ……歯の白さ!
タバコのみの
歯磨スモカ
煙草喫煙者化粧品藥店にあり 定價十五錢
280

皮膚泌尿花柳病
醫學博士 渡邊晋
京城黃金町入口 日本生命裏
診察 十二時半マデ及ビ夕刻

信賴!! キヽメ本位の 服んで効く
頭痛には
本劑は神經の痛みを鎭め神經を整へ丈夫にする藥として殊に劇烈なる齒痛、頭痛は直ちに試みられよ尙神經痛、ロイマチス等にも最も適當なる優秀良劑なり
今スグ試ミヨ……痛みは急げ……
試驗はタッタ五分間
效散
東京・大阪 森田製藥所
◇全國藥店にあり

結核菌を有しない 消化に最も良い
山羊乳
本町 七六五 光 二〇六